

## ◆実施計画について

- 令和元年度から開始した「森林環境譲与税」を活用し、森林の持つ公益的機能の維持増進、SDGsの理念に沿い、森林・林業・木材産業の持続性と成長の両立を目標とする事業を展開するにあたり、**施策の方針及び計画的な施策を示した「森林環境譲与税を活用した森林・林業・木材産業振興に関する事業実施計画」**を策定。
- 計画期間は岩泉町未来づくりプランの策定年次に併せて**4年間**とする。（令和5年度から令和8年度まで）  
※本掲載の事業は主体となる事業であり、その他事業へも森林環境譲与税を活用しながら実施する。

## ◆計画の推進と進捗管理

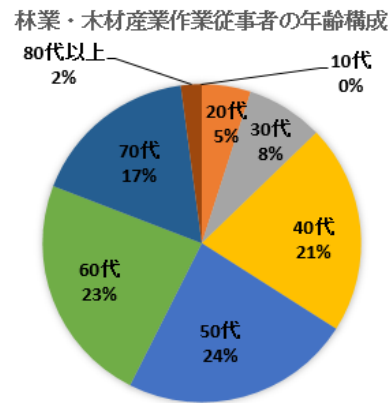
- 林業及び木材産業関係者と連携して計画を推進するために、取り組みの進捗状況を共有しながら相互に連携して効果的・効率的な取り組みの展開を図る。
- 計画の実効性を高めるため、進捗管理は計画内に「目指す目標値」を設定し、PDCAサイクルにより、計画期間内においても適宜見直しを行う。

## 岩泉町の林業・木材産業の課題

令和4年林業及び木材産業関係事業者からのアンケート調査及び聞き取り調査の結果より

### ○作業従事者不足

作業従事者全体 141 名のうち、60代以上の割合が4割であり、高齢化が進んでいる。ハローワーク等で募集を行っても新規の応募が来ない状況である。

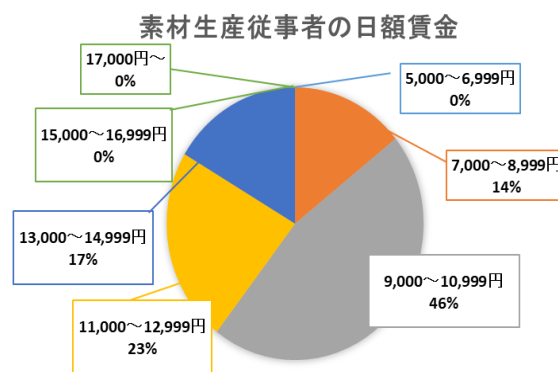


### ○作業道開設、木材運搬コストが高い

岩泉町の山林は急斜面な箇所や岩盤が多いため作業道開設経費がかかる。また、作業箇所から工場等までの道のりが遠く、木材を運搬するコストがかかっている。

### ○従事者の所得等

素材生産事業者 1人当たりの人件費は年額平均210万円。日額賃金は1万円前後の従事者が約46%。県内の他産業と比較すると、建設業で平均日額約15千円、製造業で約12千円となっており、林業従事者の賃金は低い水準となっている。木材加工事業者においても同じ傾向にある。



### ○所有者の再造林に対する意識が低い

森林所有者及び伐採業者ともに再造林に対する意識が低く、伐採後林地化が進んでいない箇所が点在している。  
※再造林…人工林を伐採した跡地に再度植林すること。

### ○木材加工機械の老朽化による生産量及び生産効率の減

木材加工機械を30年以上使用している事業者が多く、年々修繕費用も増額している。機械の老朽化に伴い生産量も減少している。

## ◆課題の改善に向けた施策の方針及び戦略的な施策

### 方針1 素材生産事業者の経営力の向上

素材生産事業者の新規就業者を確保するためには、待遇面の大幅改善を進める必要がある。個人事業主を法人化に誘導しながら、生産効率の向上と同時に従事者を確保し収益性を高め、**事業者の経営力の向上をもたらす施策を構築。**

	事業No.・事業名	実施年度	目的区分
継続事業	①作業道開設支援	R5~	作業効率
	②高性能林業機械化促進事業		作業効率
	③高校生林業就業体験事業		雇用確保
新規事業	④林業雇用安定対策支援事業	R5~	雇用確保
	⑤町管理林道改良・中間土場整備事業	R5~	作業効率
	⑥個人事業主法人化支援	R5~	法人化支援

### 方針2 再造林の必要性と温暖化対策

分収契約林等の人工林伐期後、再造林されず、林地化が進まない森林の増加を防ぐため、人工林の早期の林地化、CO2の固定化、災害に強い森林づくりを推進し、併せて、温暖化対策の観点から**森林の公益的機能の保持を促す施策を構築。**

	事業No.・事業名	実施年度	目的区分
継続事業	①FSC認証制度		資源活用
	②造林促進事業	R5~	再造林
新規事業	③再造林適地選定事業	R5~	再造林
	④自伐型林業者育成事業	R6~	資源活用
	⑤木質バイオマス施設導入支援	R6~	資源活用
	⑥薪ストーブ購入支援	R6~	資源活用
	⑦J-クレジットの導入	R7~	資源活用

### 方針3 木材産業の活性化と地域内経済循環

素材生産事業者同様、木材産業事業者においても生産効率及び品質向上を図りながら、従事者の確保と経営の持続化を推進。  
また、町産材の利用を促進し、**地域経済の活性化及び循環を促進させる施策を構築。**

	事業No.・事業名	実施年度	目的区分
継続事業	①公共施設での木材の積極的な利用		町産材拡大
	②町産材利用拡大事業	R5~	町産材拡大
新規事業	③木材産業雇用安定対策支援	R5~	雇用確保
	④木材産業経営安定化支援事業	R6~	経営安定
	⑤木材供給安定化支援	R8~	加工高度化

